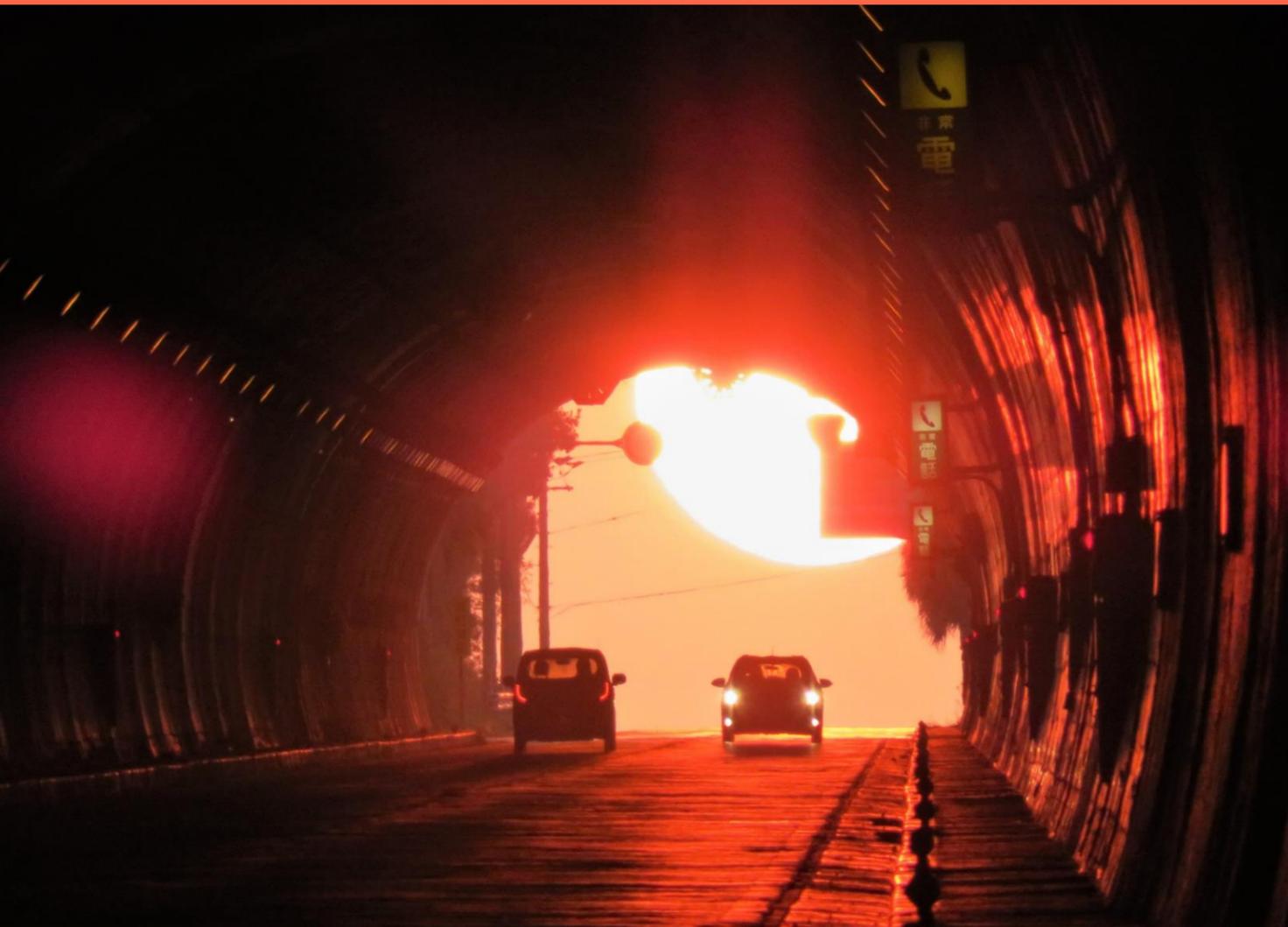


Sorairo Report

気象キャスターネットワークの活動をご紹介します！

特集 「こんな時こそ空を見よう」



表紙写真 今村聡さん

18号
2020



当会所属の気象キャスターによるコラム
キャスターレポート
檜山 靖洋さん

木地 智美さん
広瀬 駿さん

編集後記

今回の特集「こんな時こそ空を見よう」、お楽しみいただけましたか？ 4月7日の緊急事態宣言を受け、様々な社会的活動に制限がかかりました。そんな中での本会報の作成。事務局に行けず、web会議でスタッフ一同手探りで誌面作りに取り組んで参りました。お陰様で皆様からのご協力をいただき、空色レポート第18号を無事に発行することができました。ご協力・ご支援頂いた皆様に深く感謝いたします。今後とも気象キャスターネットワークをよろしくお願いいたします。

新理事長よりご挨拶



Minami Toshiyuki

南 利幸

2018年は平成21年7月豪雨により西日本を中心に広い範囲で大雨が降り、その年の台風21号では関西で猛烈な風が吹きました。翌年の2019年は台風19号の影響により関東や東北で記録的な大雨になりました。ここ数年だけでも暴風によるライフラインの被害、河川の氾濫や土砂災害による人的被害や住家被害が頻発しています。

また、最近では温暖化などの影響で生態系に変化が見られ、真夏は40度を超える極端な高温が出現することが多くなり、熱中症患者は増加する傾向があります。

気象災害が相次いで発生し、気候変動の影響が大きくなっている昨今、防災気象情報や環境の変化を的確に伝える気象予報士・気象報道に携わる気象キャスターの役割が重要になっています。

NPO法人気象キャスターネットワークでは、全国各地の会員が小中学校などで出前授業などを開催し、気象や防災、環境に対する知識の普及、啓発活動を行っています。また、研修会や視察・見学会などを主催し、会員の資質向上にも力を入れています。

NPO法人気象キャスターネットワークは多くの方々とのネットワークを発展・充実させながら、皆様の生命財産を守ることに尽力して参ります。ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

協賛企業・団体募集のご案内

子どもたちへの気象や環境に関する様々な出前授業を全国各地の小中学校や幼稚園などで実施しております。天気の実験やクイズを織り交ぜ、楽しみながら学べる授業です。天気や環境に関心を持ち、防災や地球環境を守る行動につなげられるよう、気象キャスターが分かりやすく解説します。皆さまのご協賛、ご支援をよろしくお願いいたします。

講演・イベント承ります

気象キャスターや気象予報士が、天気や防災、環境について講演や講座、イベントなどを全国各地で開催しています。気象キャスターによる講演のほか、親子で楽しく学べるイベントなども多数実施しております。詳しくは当会HPよりお問い合わせください。

- 【講演例】・地球温暖化の影響と災害への備え
- ・気象キャスターがみた地球温暖化と異常気象 など

発行 NPO法人 気象キャスターネットワーク

私たちは、全国で活躍する気象キャスターとその経験者、気象予報士などが一体となって、地球環境問題の解決や気象災害の軽減に関する知識普及啓発活動を行うことを目的として2004年に設立された特定非営利活動法人です。

〒110-0002
東京都台東区上野桜木1-14-21 高遠レジデンス上野桜木202号室
TEL：03-5832-9401 FAX：03-5832-9402
発行日：2020年7月15日(第18号)



特集

こんな時こそ空を見よう

全世界で未曾有の混乱をもたらした、コロナウイルス。日本でも緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出を自粛するなど、日々の生活に大きな影響がありました。こんな時こそ空を見上げて晴れ晴れとした気持ちになりたい。その一助になれば、と

今回当会の会員の方々に『自慢の一枚』を提供していただきました。その中で最も人気の高かった今村聡さんの写真を表紙に採用させていただきました。

皆様ご協力ありがとうございました。写真にまつわる撮影者のコメントをどうぞお楽しみください。

たくさんさんの投稿
ございました！



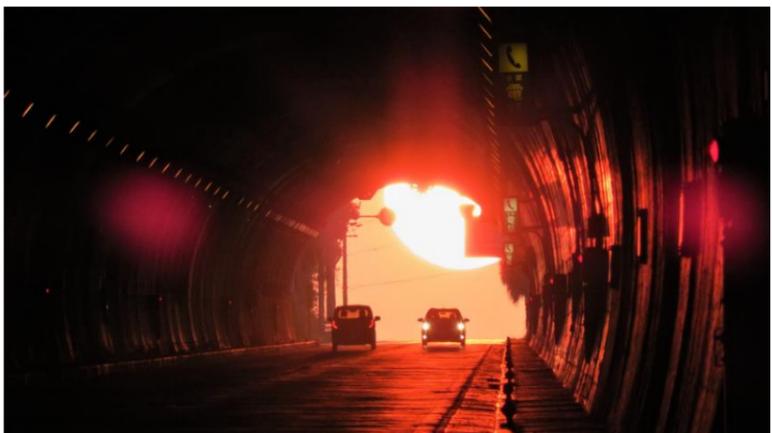
① くぼてんきさん



② 縣梨花さん



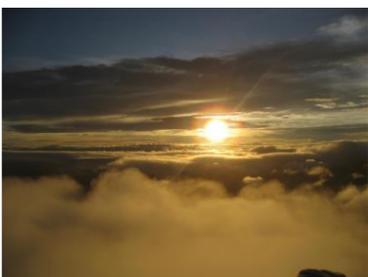
③ 武田康男さん



表紙写真 今村聡さん



④ 名倉直美さん



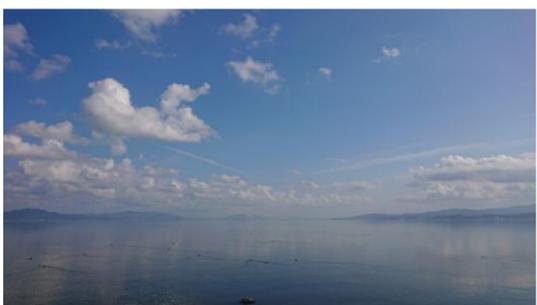
⑤ 杉村友希さん



⑦ 神谷亜弓さん



⑧ 望月豊さん



⑪ 山根収さん



⑭ 石垣真帆さん



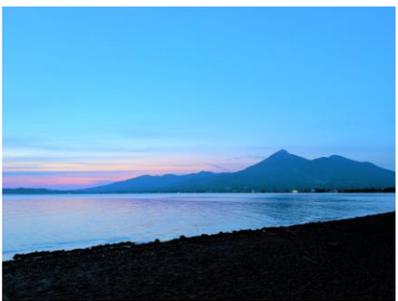
⑥ 熊埜御堂浩さん

⑩ 田原勝人さん



⑨ 田代大輔さん

⑫ 土井邦裕さん



⑮ 中津畑太一さん



⑯ 鈴木智恵さん



⑬ 池津勝教さん

表紙写真 年に数日、しかも数分間の刹那、太陽の光が全長637mのトンネルを突き抜けます。真っ暗なトンネルが昼間のような明るさになる瞬間です。
①主役は青空？東京タワー？いいえ、あなたです。②青空から一転、真っ黒な雲に覆われ、ゲリラ豪雨に。そのわずか30分後には大きな虹が出現。くるくる変わる空の表情に目が離せませんでした。③雷は子どもの頃から好きで、安全な場所から見ています。写真撮影はたいへんで、最近では4K動画から静止画を切り出ししています。④息子がサッカーの試合で優勝した帰り道。様々な高さの雲が、おめでとうと言っているように見えました。
⑤日が沈む直前。槍ヶ岳から。天候が悪く諦めかけていた登頂ですが、日没直前に奇跡的に晴れ、無事に3810mの頂に立つことができました。⑥昨年の5月GW連休中の東京西側雲写真です。⑦いつも温かく見守ってくれる桜島。特にその姿が青空を背景にくっきり見えるときには時間も忘れてずっと眺めてしまっています。⑧2018年4月、WCNの雪の大谷ツアー中にハロを発見。すかさず参加

者全員がカメラを構えて撮影開始。WCNのイベント初参加でしたが、さすが気象予報士の集まりと感心したことが忘れられません。⑨遠くにワニ雲…左側、遠くを見てみると、「百日後に死ぬワニ」がこんなところに？(飛行機より)⑩高原の湖の展望台、画面の右から左へとライン状の雲がダイナミックにうねり流れていきました。変幻自在に絶えず形を変えて流れて行く、ここが雲の大変面白いところ。⑪島根県の自然を象徴する宍道湖。国内7番目の広さの汽水湖で四季折々の景色を見せます。360度自然に包まれながら眺める一面ブルーの世界は格別です。⑫ブルーモーメントの猪苗代湖と磐梯山です。湖の波だけが聞こえるような穏やかな天気でした。夕焼けと青のコントラストも綺麗です。⑬金沢市で見られた「上向き光芒」です。「裏後光」や「天女の帯」などとも呼ばれるそう。変わりやすい北陸の空は芸術的な一面も見せてくれます。⑭空の写真を毎日撮って、ひとくち気象解説と一緒にインスタグラムにアップしています。なかでもお気に入りの一枚がこの写真。一瞬の「雲と風のアート」です。⑮先日、自宅で撮った写真です。今年のテーマは「雷」毎回様々な顔があり、自分も楽しんで撮っています。夏場が楽しみです。⑯見上げれば、そこにキラリ☆ちよっと素敵な空がある。こんな時だからこそ、リフレッシュもかねて空を見上げていきましょう。

キャスターレポート

檜山靖洋さん

(気象キャスター 気象予報士)
NHK「おはよう日本」出演中



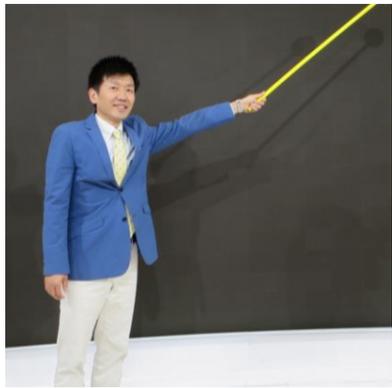
午前0時半、スマートフォンのバイブレーションで目を覚まし、その5分後に設定した音の鳴る目覚まし時計を、音が鳴る前に『起こしませ』。音の鳴る目覚まし時計は、あくまでも保険です。夜中寝ている家族を起こさないようにしながら、とにかく起きて迎えるタクシーに乗り込むこと、これが早朝番組を担当する者にとって大事な仕事です。寝坊して迎えるタクシーが帰ってしまったら、それはもう『起床災害』ですから。

午前2時に出勤し、資料の解析をして、その日伝える気象情報の構成や画面を考えます。

3時半すぎ、同じくおはよう日本の気象情報を担当する山神明里キャス

ターやアドバイザーの気象予報士さん、気象情報担当スタッフさんとブリーフィングをし、その日のポイントを共有します。同じ番組の中で伝えることには違いがないように調整します。

私は6時前の気象情報から、およそ30分に1回出演があります。7時半ごろの気象情報では、山神キャスターが外から中継したあとスタジオから私が伝える『豪華2階建て』気象情報です。山神キャスターからの無茶ぶりをいかに受け止めるか、注目です。受け止めきれないときはスルーします(笑)。そして、おはよう日本の最後の場面。いわゆる「高瀬アナの朝ドラ送り」と言われる時間があります。



私も気象情報終わりそのまま参加しています。15秒ありますが、高瀬アナが何をしゃべるか事前には教えてくれません。時には突然話を振られることもあります。常に主導権は高瀬アナにあります。何かうまいコメントを・・・と思いますが、残り4、5秒しかない中、瞬発力で何を言えるか、なかなか難しいのです。しかも、正直に言うと5分弱の気象情報を終え、ホッとして頭の中は真っ白な状態で立っています。それでも何か話に絡むこともあります。どの番組の最後の最後まで見て下さい。どの時間帯も、良い掛け合い、良い放送のために、チームワークが大切です。おはよう日本は、出演するアナウンサー、キャスターが多いのですが、大家族のようなアットホームな雰囲気があります。そんな雰囲気も画面から伝わればいいなと思います。



朝の気象情報は、お出かけや洗濯の参考になるよう、雨が降るのか、寒さ・暑さの体感はどうかを正確に伝えることを心掛けています。そのため、日ごろ気象計を持ち歩き、実際の気温と体感を比べ、『体感』を鍛えています。早朝の仕事は体力勝負でもあるので、筋トレで『体幹』も鍛えています！



お天気レポート

木地智美さん

(正会員)



しんきろうって、いったい何？

しんきろうって、聞いたことがありますか？

漢字で書くと「蜃気楼」。蜃(大ハマグリ)が、妖気を吐いて、楼閣(建物)を出現させると言うのがそ

の語源です。

遠くに幻が見えるのかな?と思う人もいるかもしれませんが、違います。

「蜃気楼の見える街」として知られる富山県魚津市では、3月から6月の梅雨入りごろまで、春のしんきろう(上位蜃気楼)が現れます。多く見られるのは5月です。

朝冷え込んで、日中にグンと気温が上がると、海の上の空気は、下の方が冷たい空気、上の方が暖かい空気と、二つの層に分かれることがあります。すると、光が、空気の温度(密度)が変化する層を通ることで曲がり、もともとある遠くの景色が、伸びたり、縮んだり、ひっくり返ったりして見えるのです。



通常時の写真



魚津埋没林博物館より(今年6月9日のしんきろう)

賑わう魚津の海岸



よく晴れた日、魚津市の海岸には、たくさん観光客と、しんきろうを愛する地元の人たちが双眼鏡やカメラを手に集まり、とても賑やかです。大規模なしんきろうが現れると、魚津市では住民に知らせる花火が上がります。

春のしんきろうが現れるのは、平均して年に十数回程度なので、見られた人はとてもラッキー。富山に来られなくても、魚津市が設置しているライブカメラでもよく見えますから、ちょっとのぞいて見てください。

現在、魚津埋没林博物館では、近くの遊園地の観覧車に取り付けた観測器で、どんな気象状況でしんきろうが現れるのか、気温や風を詳細に分析する研究を行っています。よく当たるしんきろう予報が発表される日が来るかもしれません。

ご興味のある方はコチラもぜひ！⇒ 魚津埋没林博物館 しんきろうライブカメラ <https://www.city.uozu.toyama.jp/nekkolnd/live/>

食レポート

広瀬駿さん

(正会員)



愛してるぜ、伊予さつま

ステイホーム生活が大きなきっかけとなり、私は自炊中心の生活になった。それまでの3年半で炊飯器を使用したのは、10回に満たないのに。自炊で挑戦したのはグラタンに豚の味噌漬け、レンコンまんじゅうなどなど。中でも一番のお気に入り、私の故郷・愛媛の郷土料理「伊予さつま」だ。伊予さつま



は、鯛の身を焼き、すり鉢で味噌とゴマと合わせてすりつぶし、それらに焼き目を入れ、出汁を複数回に分けて入れのばしていく。鯛の身のフワフワ食感と味噌の甘みが、奇跡のハーモニーを生み出すのだ。この旨さと手間暇が、見た目からほとんど伝わらないところが、私は好き。伊予さつま、愛してる。



こんな時だからこそ、 WCNは新たなチャレンジを続けていきます

先日は、オンラインにて「マイ・タイムライン」講師研修会を国土交通省と共同で実施しました。また、YouTubeチャンネルに防災や環境に関する動画をアップしていきます。新型コロナウイルスの影響により、2月末から出前授業や講演が相次いで中止となってしまいましたが、防災出前授業や自主出前授業について準備・調整を進めています。

できることから、少しずつ。環境防災教育の一助となるべく、これからも活動していきます！

河川基金共同 防災出前授業「空の教室」

気象キャスターネットワークは、2004年以降全国の学校で約4800回以上の様々な出前授業を行ってきました。本年度は、河川基金と気象キャスターネットワーク共同で、防災出前授業「空の教室」を全国の小学校100校で実施します。災害を引き起こす、台風や集中豪雨などについて、座学だけでなく、実験・ワークショップを通して学ぶことができます。この他、地球温暖化に関する出前授業も実施予定です。新型コロナウイルスの影響で本年度は出前授業が実施できるか不安ではありましたが、実施の際は学校の先生と連携を取り進めていきたいと思います。今年も全国の小学生の皆さんにお会いできるのを楽しみにしています！

自主出前授業

弊会では、気象キャスターや気象予報士、また、これまでの出前授業の講師の経験を生かした「自主出前授業」を行っています。自主出前授業とは、講師自らが、実施校や授業内容を決め、授業を行うもので、2019年度も20回を超える授業を実施しました。気象・防災・環境の話だけでなく、気象キャスターの仕事の話や、気象予報士になろうと思ったきっかけなど、様々な内容の授業が行われています。本年度も各地で各講師のオリジナリティに富んだ授業が実施されることを楽しみにしています。



国土交通省 「マイ・タイムライン」講師研修会

令和2年6月27日、国土交通省のご協力のもと「マイ・タイムライン」ワークショップ講師研修会が行われました。今回は新型コロナウイルスの状況を踏まえ、オンラインで実施されました。ハザードマップの読み解き方について、マイ・タイムライン講習会の講師を実施された方からの経験談、実際の講習の進め方など、これから講習を担当した場合に、役に立つ情報ばかりで、大変勉強になりました。今後、講習会を実施する場合はオンラインで実施される可能性もあるとのこと、その部分の知識も深めていきたいと思います。コロナ禍で避難を考える際にどうするかなども、考えなければならぬ課題だと感じました。



「逃げキッド」は下記のホームページからダウンロードできます。使用に当たっての諸注意などは、「国土交通省関東地方整備局」ホームページにてご確認ください。



小中学生向けマイ・タイムライン検討ツール ～逃げキッド～

事務局スタッフより おすすめ書籍のご紹介



日本でただ一人、雪と地球温暖化を専門に研究する著者が、雪と地球温暖化の関係に迫る！

『地球温暖化で雪は減るのか増えるのか問題』 [ベレ出版] 著 川瀬 宏明



お天気お兄さんとしての面白みと苦勞、空への視点をコミカルにつづった1冊。

『空がおしえてくれること』 [幻冬舎] 著 蓬萊 大介



子どものころに空を見上げてワクワクしたことを思い出そう、空の特別授業にあなたをご招待いたします。

『天気と気象の特別授業』 [三笠書房知的生き方文庫] 著 筆保 弘徳, 今井 明子, 広瀬 駿



さまざまな地域や季節ごとの雲との出会い方がわかる図鑑が誕生！

『雲と出会う図鑑』 [ベレ出版] 著 武田 康男

<ご案内> 熱中症予防情報を公開中

暑さ指数 (WBGT) を表示するページを開設しております。WBGTは、気温だけでなく湿度などを加味した体感温度を表現する指数で、熱中症の危険度がわかります。パソコン向けページでは好きな地点を検索表示することが可能で、スマートフォン向けページではGPS機能で現在の暑さ指数を手軽に表示できる形となっています。情報は毎日更新されます。学校現場など、この夏の熱中症対策にぜひご利用ください。



詳しくは当会HPへ！
スマホ・携帯でも閲覧できます
http://www.weathercaster.jp/heat_stroke/

気象キャスターネットワーク YouTubeチャンネル開設

弊会では、YouTubeチャンネルにて熱中症対策や2100年の天気予報などの動画をアップしています。他にも、家族で楽しめる天気の実験動画や、会員の方からお寄せいただいた動画をアップ予定です。チャンネル登録をお願いいたします。

【東京で44度!?】2100年の天気予報